



平成29年度国内における米陸軍との実動訓練（オリエントシールド）の概要について

陸上自衛隊は、以下のとおり国内における米陸軍との実動訓練（オリエントシールド）を実施しますので、お知らせいたします。

1 目的

陸上自衛隊及び米陸軍の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動により演練し、相互運用性の向上を図る。この際、東富士演習場の良好な訓練環境を最大限に活用するとともに、方面区を跨ぐ機動展開について演練する。

2 期間

平成29年9月8日（金）～9月25日（月）

3 場所

東富士演習場、王城寺原演習場、滝ヶ原駐屯地 等

4 担任官

- (1) 陸上自衛隊：東部方面隊 第1師団長 陸将 ^{しばた}柴田 ^{しょういち}昭市
- (2) 米陸軍：在日米陸軍司令官 少将 ジェームズ F. パスカレット (James F. Pasquarette)

5 訓練実施部隊

(1) 陸上自衛隊

ア 第1師団 第34普通科連隊基幹

イ 人員 約1200名

ウ 主要装備

10式戦車、155mm りゅう弾砲、120mm 迫撃砲、87式対戦車誘導弾、AH-1ヘリコプター等

(2) 米陸軍

ア 1-25旅団戦闘団 3-21大隊基幹

イ 人員 約1200名

ウ 主要装備

スライカー装甲車、120mm 迫撃砲、81mm 迫撃砲、60mm 迫撃砲、ジャベリン(携帯対戦車誘導弾)、AH-64ヘリコプター等

(問い合わせ先)

陸上幕僚監部広報室 井上、西村 (担当)

(TEL: 03-3268-3111 内線40083)